

特集

～ふるさと納税 議会レポート～

平成28年度ふるさと納税寄付金

額は過去最高額に！

平成28年度寄付額は約2億6千万円

東伊豆町はふるさと納税を平成20年度より開始し、9年間で寄付額を約655倍へと伸ばし、この8年間の取り組みと、平成28年度の寄付目的などを分析し、よりわかりやすく町民の

してきました。皆様へ報告いたします。

ふるさと納税ってなに？

ふるさと納税は寄付額の3割を寄付者へ東伊豆町の加工品や農水産物等で返礼しています。寄付額が増えると地元業者への注文が増え経済活性の一因を担っております。平成28年度寄付額は1万円以上2万円未満が一番多く、50万円以上の寄付も11件あり、都道府県別でみると東京都の1326人が最多で、北は北海道、南は沖縄までと全国各地より寄付をいただいております。

ふるさと納税の積立額

平成27年度積立額	1495万円
平成28年度積立額	1億5810万円
計	1億7305万円

ふるさと納税使い道

平成29年度事業	事業費
若者定住促進住宅取得補助金	1100万円
小規模保育事業補助金	229万円
稲取漁港直売施設詳細設計業務委託料	900万円

平成27年度と平成28年度の寄付金は必要経費を除き、ふるさと納税基金に積立を行っており、平成28年度末には1億7305万円となっております。

平成29年度より事業を開始した若者定住促進住宅取得補助金、小規模保育事業補助金の一部、稲取漁港直売所詳細設計業務委託料へふるさと納税基金より繰出しています。

今後の目標を町長へ聞いてみました

ふるさと納税に関しては、今後も推進していきたいと考えています。安易には使用せず、必要なものには使っていきたいと考えます。平成29年度は昨年より少々寄付額が落ちているが、毎年2億円程度を目標に今後も続けていきたいと考えています。

議会としての取り組み

当局側からの使用目的等を正しく、無駄なく有効的な使用が行われるよう精査し、使用目的に則した使い道になるよう議会はチェックを行い、他の項目への流用にならないように努めてまいります。今現在は、将来に備え基金積立を多くし、必要な事業、支援等が発生した場合に繰出せるよう準備が必要と考えます。

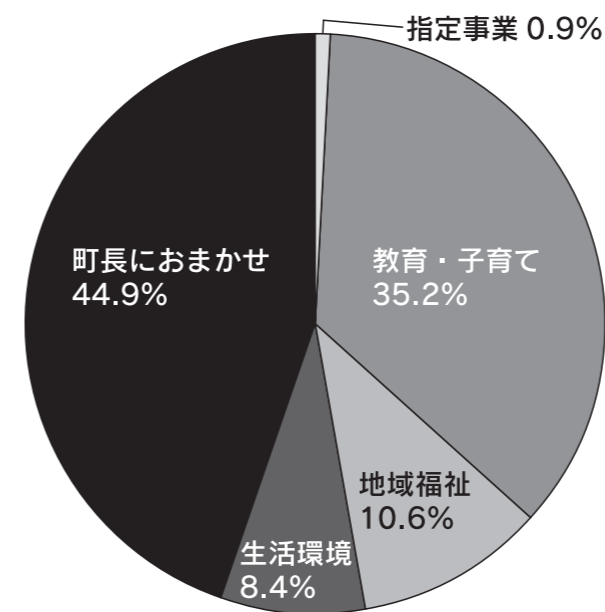
これまでの経緯

年度	経過
平成20年度	ふるさと納税スタート
平成27年度	記念品開始(寄付額の3～4割相当)
平成28年度	インターネット申込開始 クレジットカード決済開始
平成29年度	返礼品上限額3割にてスタート

年度別寄付件数・金額

年度	人数	件数	寄付金額
20	4	4	40万円
21	4	4	50万円
22	3	3	35万円
23	2	2	20万円
24	6	6	100万円
25	10	10	93万円
26	21	21	104万円
27	610	777	2347万円
28	4,092	4,662	2億6197万円
計	4,752	5,489	2億8987万円

H28年度 ふるさと納税寄付金 使い道希望



平成20年度開始時期より人数、件数ともに増加傾向にあります。

平成28年度は過去最高額となる2億6197万円の寄付をいただきました。

使い道希望は町長にお任せが全体の44.9%を占め、続いて教育・子育て、地域福祉、生活環境となっております。